



セブン工業株式会社

第64期中間

株主通信

2022年4月1日から2022年9月30日まで

(証券コード：7896)

ごあいさつ



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
 第64期第2四半期は、不安定な世界情勢を背景に、資源価格の上昇や急激な円安の進行も重なり、極めて不透明な経済環境で推移いたしました。
 この数十年経験したことのない為替水準から海外資材の調達コストの上昇及び電力料をはじめとしたエネルギーコストの高騰等を背景に厳しい事業環境下にありましたが、木構造建材事業における非住宅分野の領域拡大に資するプレカット、パネル、建装の三位一体の取り組みが奏功し増収増益の結果となりました。
 これもひとえに株主の皆様のご支援、ご理解の賜物と存じます。誠にありがとうございました。
 今後、更に混迷する事業環境が予測されますが、スローガンである「Be Professional II」の体現を図り、期初に掲げた重点課題を堅実に実行し、目標の達成に向け邁進してまいります。
 株主の皆様には、今後とも変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長 木下浩一

経営成績

当第2四半期累計期間における我が国経済は、ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の不安定感を背景にあらゆる資源価格の上昇や資源の調達にかかるリスク等が深刻化するなか、急激な円安の進行も重なり極めて不透明な経済環境下で推移いたしました。

当社が属する住宅業界におきましては、昨年から続く「ウッドショック」による世界的な木材供給不足は徐々に解消する動きはみられるものの、かつてない為替水準から海外資材の調達コストの高騰が進んでいることに加え、不透明な経済状況を背景に消費マインドの減退による新設住

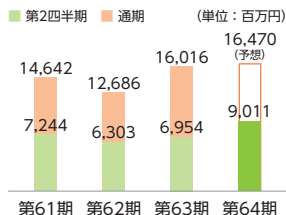
宅着工戸数の減少が懸念される状況下となっております。

このような厳しい経営環境のなか、これまで以上に社員一人ひとりのプロフェッショナルとしての意識、行動が要求されることから、前事業年度のスローガンを踏襲し、「Be Professional II」を掲げ、更なるプロアクティブの進化を図り、困難な局面を打破する施策を講じてまいりました。

内装建材事業においては、原材料の著しい高騰及び調達リスクを背景とした厳しい事業環境にあることから収益性改善が急務であり、生産性向上、合理化はもとより価格転嫁の施策を進めてまいりました。また、安定供給

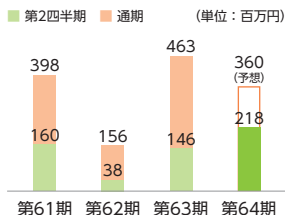
売上高

90億11百万円
 (前年同期比29.6%増)



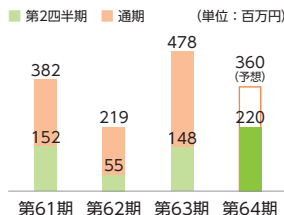
営業利益

2億18百万円
 (前年同期比49.2%増)



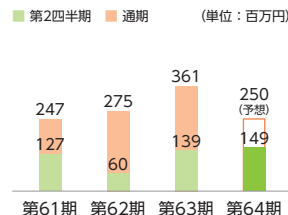
経常利益

2億20百万円
 (前年同期比48.9%増)



当期（四半期）純利益

1億49百万円
 (前年同期比7.1%増)



※第63期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。

や品質面等における市場からの信頼性を確保することに加え、経営課題である省施工商品の拡充等を進め、付加価値の向上に資する施策を講じてきました。こうした取り組みにより受注は堅調に推移したものの、想定以上の為替の影響や電力費の高騰等、特殊な外部環境の影響を色濃く受けた結果となりました。

木構造建材事業においては、事業部の成長戦略である非住宅分野の領域拡大に資するプレカット、パネル、建装の三位一体の取り組みが奏功しており、引き続き安定した受注及び収益確保に繋げることができました。特に事業戦略の中核的取り組みの一つである大型非住宅物件にかかる建装事業が好調に推移したことが大きく収益に貢献いたしました。新商品であるサッシ付パネル（ネオスマートパネル）の展開において、拡販に資する販売網の確立に向けた取り組みに着手し複数の協力企業との提携関係を進め、今後の展開強化を図る礎を構築いたしました。これら事業戦略の推進を図ってきたことにより堅調な業績を維持することができました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は、90億11百万円と前年同四半期と比較し20億56百万円（29.6%）の増収となりました。利益面では営業利益は2億18百万円と前年同四半期と比較し72百万円（49.2%）の増益、経常利益は2億20百万円と前年同四半期と比較し72百万円（48.9%）の増益、四半期純利益は1億49百万円と前年同四半期と比較し9百万円（7.1%）の増益となりました。

中間配当金につきましては、第2四半期累計期間の業績及び財務状況等を勘案し、1株につき10円とさせていただきます。

通期の見通し

今後の経済の見通しについては、ロシア・ウクライナ情勢に伴う不安定な世界情勢に加え、資源価格の上昇や為替の動向等、更なる経済情勢の悪化が危惧されるなか、当社が属する住宅業界におきましても、不透明な経済状況を背景に新設住宅着工戸数の減少が懸念されることともにエネルギーコストの高騰や円安の進行等、厳しい事業環境が続くことが予測されます。

こうした厳しい状況下、顧客ニーズへの的確な対応を図ることで市場からの信頼性をより高める施策を講じ、継続的な受注確保に努めることを第一とし、両事業部門共に有する高いプレカット技術を活かした省施工商品の更なる拡充や非住宅物件に対する経営資源の投下等を通

じて、当期のスローガンである「Be Professional II」の体現を図ってまいります。

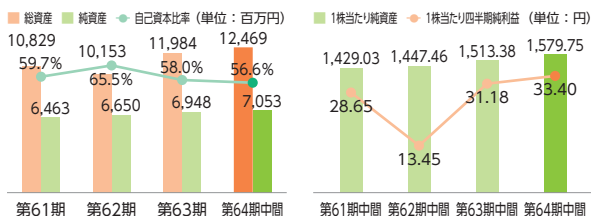
内装建材事業においては、製品に使用する木材の大半が海外からの輸入材であるため、足元における想定以上の為替の影響を受け、収益が圧迫されていることから、価格転嫁を進めると同時に新たな製品基材のトライアルを加速化させるなど早期に収益性改善を図ってまいります。また、このような厳しい事業環境であるからこそ、顧客に対する安定供給や高品質の製品を提供するといったメーカーとしての原点を意識し、市場からの信頼を得るとともに非住宅分野の拡販、省施工商品や抗菌製品の拡充等付加価値の追求、ネット販売ではオリジナルブランド“COMOKU”を立上げ、新商品であるウォールシェルフの展開を通じた販売チャネルの多角化を図ってまいります。

木構造建材事業においては、引き続き、非住宅分野の領域拡大に向けた施策を重点に取り組み、特に当期は大型非住宅物件を中心とした建装事業が拡大していることから、こうした難易度の高い木造建築物を手掛けている技術力を積極的にアピールし、更なる需要開拓を図ってまいります。なお、ウッドショックの時勢が落ち着きを見せ、調達リスク等にかかる舵取りの困難さからは脱却できつつある一方、価格競争が進展する可能性があることから、攻守のバランスを意識した慎重かつ迅速な事業運営に努めてまいります。

なお、第2四半期の業績は、当初予想を上回る結果となりましたが、かつてない不透明な経営環境にあることから、2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年4月28日に公表しました予想からは変更ありません。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総資産／純資産／自己資本比率 1株当たり純資産／1株当たり四半期純利益



※2020年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。第61期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産及び1株当たり四半期純利益を算出しております。

第2四半期決算

詳細は [セブン工業 I R 情報](#) [検索](#)

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)	前事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産	8,174	7,727
固定資産	4,295	4,257
有形固定資産	4,006	3,926
無形固定資産	70	74
投資その他の資産	218	256
資産合計	12,469	11,984
負債の部		
流動負債	4,497	4,322
固定負債	918	713
負債合計	5,416	5,035
純資産の部		
株主資本	7,052	6,948
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,675	2,675
利益剰余金	2,148	2,043
自己株式	△244	△244
評価・換算差額等	0	0
その他有価証券評価差額金	0	0
純資産合計	7,053	6,948
負債及び純資産合計	12,469	11,984

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	9,011	6,954
売上原価	7,731	5,815
売上総利益	1,279	1,139
販売費及び一般管理費	1,061	992
営業利益	218	146
営業外収益	6	5
営業外費用	4	3
経常利益	220	148
特別利益	0	49
特別損失	0	2
税引前四半期純利益	220	195
法人税等	39	27
法人税等調整額	31	28
四半期純利益	149	139

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△336	△263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	524	229
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12	△32
現金及び現金同等物の期首残高	751	792
現金及び現金同等物の四半期末残高	764	760

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

新商品紹介

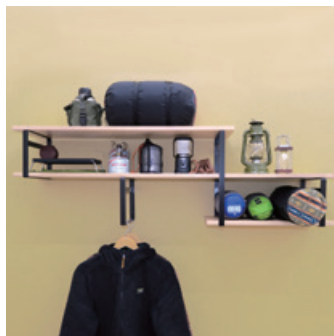
ウォールシェルフ Wall Shelf



ウォールシェルフ

リビング、寝室、ランドリールームなど、用途や好みに合わせて設置できる「ウォールシェルフ」。ブラケット2サイズ、棚板3サイズを組み合わせることによって、壁面のスペースに合わせた形にしたり、飾りたいもののデザインや大きさに合わせた形にしたり、自由に選んで組み立てることができます。

デザインに自由度を持たせた設計で、自分好みの形でオリジナル性の高いディスプレイラックとしてご使用いただけます。ネット販売サイトAmazonにて発売中です。



SDGs 貢献への取り組み
木育企画『木のおさかな釣り』



当社のSDGsに対する取り組みの一つとして、10月に愛・地球博記念公園で行われた、「WOODコレクション2022 in あいち」において「木のおさかな釣り」を出展いたしました。

子供たちに木を好きになってほしい。木を使うことで森や海が元気になることを知ってほしい。そんな想いのもとに若手社員が中心となり企画したものです。

ヒノキ・スギ等の岐阜県産材をはじめとした15種類の木材を使った「おさかな」は非常に好評をいただき、多くの子供たちが木の名前を覚え、目を輝かせて楽しんでくれました。

今後もセブン工業らしくSDGsへの貢献に取り組んでまいります。



ホームページ及び
Instagramのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。また、Instagramを通じて多くの方々に当社の魅力を知っていただきたく、当社情報（製品・サービスや施工事例、行事・イベントなど、事業活動の全般）を積極的にお届けしております。ぜひ、フォローをお願いします。



セブン工業

<https://www.seven-gr.co.jp/>

■ 本 社 〒505-0016
岐阜県美濃加茂市牧野1006番地
電話 (0574) 28-7800 (代表)

株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネット
ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

上場証券取引所 東京証券取引所・名古屋証券取引所
公告の方法 電子公告により行う

公告掲載URL
<https://www.pronexus.co.jp/koukoku/7896/7896.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株式の状況 2022年9月30日現在

- ①発行可能株式総数 11,946,300株
- ②発行済株式の総数 4,673,250株
- ③株 主 数 1,854名
- ④大株主の状況（上位5名）

株 主 名	持 株 数
都 築 木 材 株 式 会 社	1,196 千株
西 垣 林 業 株 式 会 社	1,046
セブン工業社員持株会	145
村 上 隆 吾	115
須 山 木 材 株 式 会 社	62

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式208千株があります。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

